

2014 年 2 月大雪後のニホンジカの死体目撃情報の報告

馬場重尚*・羽太博樹**・前嶋真一*・藤森博英***

Report of corpse sightings of sika deer (*Cervus nippon*) after heavy snowfall in February 2014.

Shigehisa BABA*, Hiroki HABUTO**, Shinichi MAEJIMA*, Hirohide FUJIMORI***

I はじめに

2014 年 2 月は 8 日、14 日と 2 週続けて関東・甲信越・東北地方南部を中心に大雪となった。積雪量は関東平野部でも 30 ～ 80cm、丹沢など神奈川県内の山地では 1m 以上に達した。

降雪を境に神奈川県自然環境保全センターに衰弱死したとみられるシカの死体や、登山道近くに数頭纏まっているニホンジカの死体の目撃情報が寄せられた。

「神奈川県第 3 次ニホンジカ保護管理計画」では、外的要因による大量死を考慮せずに個体数調整の計画を立てている。平成 26 年度（2014 年度）の保護管理事業実施計画において、大量死を考慮せずに捕獲個体数を算定すると過大となる可能性がある。

そこで積雪を起因とする死体を確認するために「第 3 次ニホンジカ保護管理計画」において保護管理区域とされている地域でのニホンジカの死体目撃情報を収集することとした。本稿では、その分析結果を報告する。

II 分析方法

1 データ収集

分析に使用したデータは、次の方法により収集した。

(1) 関係機関による情報収集

ニホンジカ保護管理区域内で事業を実施する機関等へ目撃情報の提供を依頼し収集した。データは FAX、電子メールにて報告を得た。可能であれば目撃地点の地図、死体の写真を提供するように依頼した。

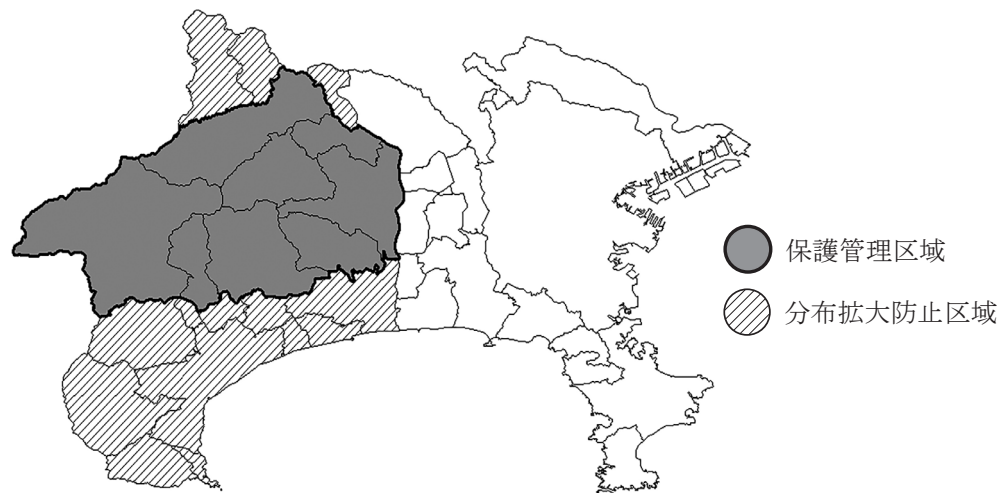


図 1 「保護管理区域」位置図

* 神奈川県自然環境保全センター 自然保護公園部野生生物課（〒 243-0121 神奈川県厚木市七沢 657）

** 現所属 神奈川県環境農政局水・緑部自然環境保全課（〒 231-8588 横浜市中区日本大通 1）

*** 現所属 神奈川県県央地域県政総合センター 森林再生部分収林課（〒 243-0121 神奈川県厚木市七沢 657）

(2) パークレンジャー、ワイルドライフレンジャーによる収集

自然環境保全センターに所属している、パークレンジャー、ワイルドライフレンジャーから直接聞き取りによる報告を受けた。位置情報は提供されたGPS データ、地図により確認をした。

2 収集内容

(1) 目撃者の情報

任意で目撃者の氏名を任意で提供を受けた。

(2) 死体の情報

雌雄、オスは角の有無、成獣か幼獣であるかなど

神奈川県内のニホンジカ等の死体に関する情報提供のお願い

神奈川県自然環境保全センター

日頃、丹沢大山の自然環境の保全と再生に御協力いただきありがとうございます。

当センターでは、この度の大雪によるニホンジカ等への影響を把握したいと考えております。

つきましては、ニホンジカ及びニホンカモシカの死体（白骨を含む）を目撃されましたら、以下のとおり情報提供の御協力をお願いいたします。

1 ご提供いただきたい内容

(1) 目撃した年月日

(2) 目撃された方のお名前（任意）

(3) 場所（出来るだけ具体的に）

※地図に示してもらえると大変助かります

(4) 頭数とそれぞれの状況

オス（角あり・なし）、メス、子供、白骨 など確認できた範囲で

※写真があれば大変助かります

2 対象期間

平成26年2月15日（土）から5月11日（水）までに目撃された死体

3 情報の提供先

神奈川県自然環境保全センター 自然保護公園部 野生生物課

住所 〒243-0121 厚木市七沢657

FAX (046)248-2560

e-mail habuto.1xac@pref.kanagawa.jp

収集依頼文

III 収集結果

収集した情報を位置、目撃時の状態から重複する情報を取り除き表1のとおりまとめた。各項目についての結果は次ぎのとおり。

1 目撃個体数

ニホンジカ 81頭、ニホンカモシカ 13頭。そのうち重複の可能性のあるのは、ニホンジカ 14頭、ニホンカモシカ 2頭であった。

2 雌雄

前述1「目撃個体数」の重複の可能性のある情報を省いたニホンジカ 67頭のうち、雌雄の別は次ぎ

のとおりであった。

オス 11頭、メス 17頭、判別不能 39頭

3 年齢等

前述(1)の重複の可能性のある情報を省いたニホンジカ 67頭のうち、目視により、成獣、幼獣に区分は次ぎのとおりであった。

成獣 30頭、幼獣 13頭、不明 24頭

4 目撃場所

目視された場所は図2のとおりである。なお、同一地点で目撃される個体が多いため、目撃位置図で確認できる点数は目撃された個体数と一致することはない。

表 1 目撃個体数と内訳

単位：頭

	成獣				幼獣				不明				計			
	オス	メス	判別不能	計	オス	メス	判別不能	計	オス	メス	判別不能	計	オス	メス	判別不能	合計
シカ	10	11	9	30	1	4	8	13		2	22	24	11	17	39	67
カモシカ		1	5	6			3				2	2	0	1	10	11

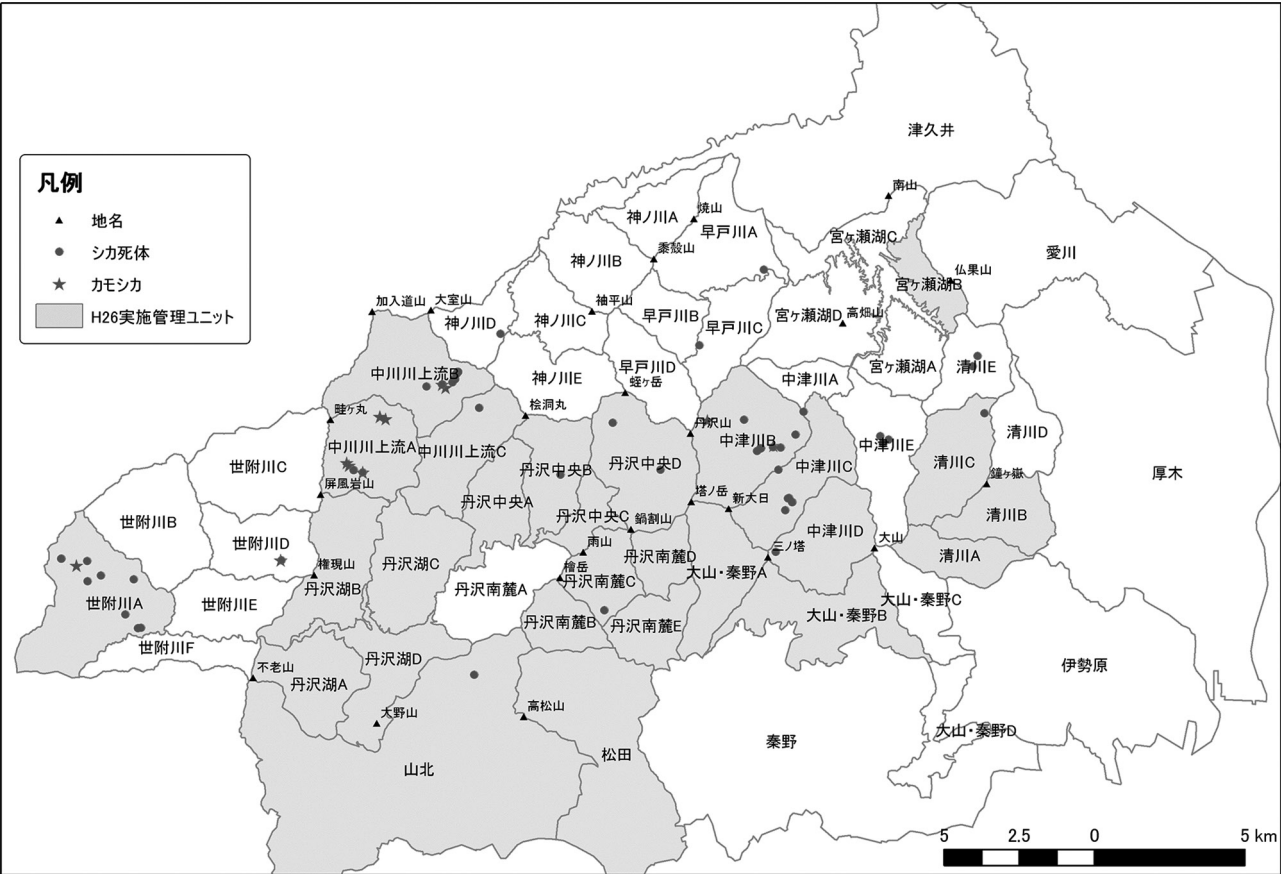


図 2 死体発見位置図

5 死因について

栄養状態が悪くなく、数頭纏まって死んでいる場所などが見られ、衰弱だけでなく雪崩に巻き込まれたと推測される個体もあった。

IV まとめ

本報告で集計した個体は、偶発的に目撃された個体の報告数を元にしたものであるため、仮に保護管理区域内の山中で積極的に捜索を行った場合には更なる数の死体を発見できると推測される。しかし、管理捕獲の必要性を変えるレベルではなく、第3次保護管理計画の方針通り事業を実施することとした。

V 謝 辞

ここに報告した調査を実施するにあたり、情報の収集提供にあたって林業事業体、県市町村の関係機関の方のご協力いただいた。ここに記して深く感謝の意を表したい。